



潮来まちづくりシンポジウム2022 ～潮来の明日を語り合う～ 原市長×筑波大生×潮来高校生

10月22日 まちづくりシンポジウム対談参加者

	氏名
潮来市長	原 浩道
筑波大学大学院生	川辺 伶

潮来高校

発表班	学年	氏名	出身中学	班別テーマ
2班	1年	長峰 諒	日の出中	FamiMaホイホイ
5班	1年	久保木 悠斗	潮来一中	水を愛し水に愛されたまちITAKO BLUE FES
7班	1年	立原 実南美	潮来一中	～東国水郷4市の若者がつくるみんなの文化祭～
8班	1年	平山 唯愛	日の出中	東国水郷“いたこ”ネクション

10月22日(土)、潮来公民館において「潮来まちづくりシンポジウム2022」が開催されました。シンポジウムでは、筑波大学と潮来高校地域ビジネス科の生徒が「若いチカラで潮来を盛り上げる」をテーマに、高大連携事業として一緒にフィールドワークを行い検討してきた様々な施策を発表しました。

この度、原市長と、シンポジウムに参加した筑波大学、潮来高校地域ビジネス科の皆さんに「潮来の明日を語り合う」をテーマに対談していただきました。

対談の司会進行は、エフエムかしまパーソナリティ水井美佐さんです。



まちづくりシンポジウムでの発表の様子

司会 今回のシンポジウムは、潮来高校と筑波大学が連携してまちづくりを考える「高大連携事業」の成果発表として行われました。「高大連携事業」とはどのような事業でしょうか。

原市長 まずは、潮来まちづくりシンポジウムに参加いただき、ありがとうございます。シンポジウムで皆さんの提案は大変興味深いもので、潮来市の魅力向上や地域活性化の参考にさせていただきます。今回の対談では、潮来の明日を語り合い、潮来の明日を考える有意義な時間にしたと思います。



はら ひろあき 潮来市長

川辺 「高大連携事業」は、高校生と大学生が連携して行う事業で、地域のまちづくりに着目し、潮来高校に通う地元の学生と、筑波大学で都市計画を学んでいる大学生が、潮来市の課題を踏まえたまちづくりの提案をするものです。高校生からすると、「まちの課題」というのは、難しい問題のように感じるところもあると思いますが、都市計画を学んでいる僕たちがサポートしながら、一緒に考えていくものです。僕たち大学生も、現場に出て実際にいろいろなものを見るというのはとてもいい機会だと考えており、高校生と大学生が連携して一緒にまちづくりについて考えていくというのは、とても意味があると思っています。

司会 今回のシンポジウムでは、潮来高校生と筑波大学生が班を組み、8班にわかれてフィールドワークを行い、発表をしました。まずはシンポジウムで最優秀賞を受賞した、8班の平山さんから順に、テーマを決めた理由や内容などを教えていただけますか。

平山 私たちは、観光客も潮来市民も取り組める活動を考えて、潮来という地域を良くすることを通して、様々な「つながり」を持てたらいいなと思います。テーマを「東国水郷、いたコ」ネクシオンにしました。内容は、循環を図ることで、持続可能な東国水郷にしていこうという提案です。

久保木 テーマを「水を愛し水に愛されたまち I T A K O」にした理由は、潮来市は水に囲まれているということで、水に愛されていると思います。私たちが水を愛し、潮来を思う心を培おうと思いい、このテーマにしました。内容は川を活用して

のSUP（サップ※）や釣り、SUPと釣りをかけあわせたSUPフィッシングなどです。（※スタンドアッパーボードの略称。ボードの上に立ち水面を進むアクティビティ。）

長峰 テーマを「FamiMaホイホイ」にした理由は、私たちが調査をしたところ、道の駅いたこに来る人は、高齢者が多く、若者やファミリー層があまり来ていなかったため、道の駅いたこにファミリー層を集めることで、潮来を活性化させようという理由で決めました。内容は、道の駅いたこの裏側にあるグラウンドや、正面の大型ビジョンを、もっと有効活用していこうという内容です。

立原 テーマを「BLUE FES」にした理由は、文化祭として覚えやすく、分かりやすい名前にしようということで、水郷の青、青春の青ということで、BLUE（青）を入れて、「BLUE FES」にしました。内容としては4つの市（潮

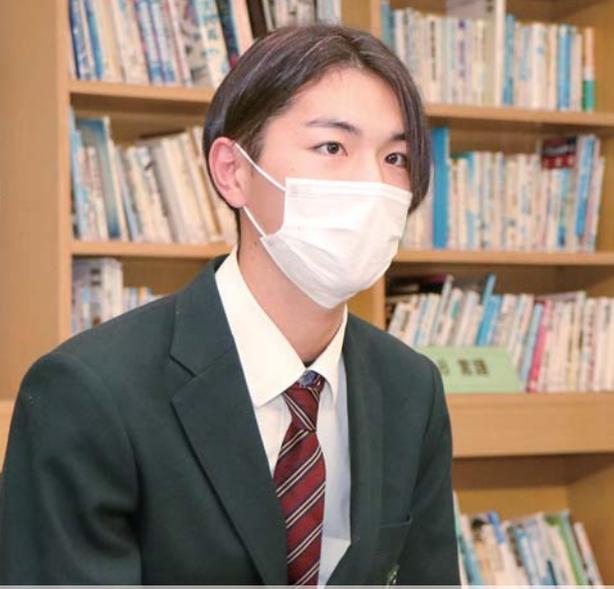


筑波大学大学院 サービス工学学位プログラム修士2年 川辺 怜 さん

来市、鹿嶋市、神栖市、香取市）の若者たちが主催し、文化祭を行って、SDGsにつながる住み続けたいまちづくりをしようという内容です。

司会 大学生とフィールドワークをして良かったことなどを教えてください。

長峰 普段あまり大学生と関わることがないので、フィールドワークを通して、大学生と仲良くなることできて良かったと思います。シンポジウムが終わってしまい、今後は会う機会がないので、とても寂しいです。



潮来高校地域ビジネス科1年

ながみね 長峰 さん

久保木 大学生と一緒にヒアリングなどを行ったことで、大学生の視点や考え方を知れたことはとても良かったと思います。大学生の皆さんはとてもかっこよく見えました。

立原 インターネットや本の情報とは違う、大学生とのフィールドワークを通して、自分の目で潮来をあらためて発見できたことが良かったと思います。

平山 普段の高校生活では味わえない貴重な体験ができました。大学生からたくさんアドバイスをもらって、新しい発見がたくさんあって、楽しかったです。

司会 大学生と一緒に活動することで、高校生の皆さんの世界も広がったと、発表を見ていて感じました。シンポジウムで多くの皆さんの前で発表していかがでしたか。

立原 人前で話したり発表したりする経験があまり無いのですが、どうしたら聞きやすいか、見やすいかなど、大学生や先生方のアドバイスを聞いて、手の位置などを意識して、本番に臨めたのが良かったと思います。

久保木 多くの皆さんの前で発表はとても緊張しましたが、発表することの面白さや難しさを感じる事ができました。

平山 大学生と協力して何かをするということが無いので、今後このような機会があったら、また参加したいと思います。

長峰 今回の発表でも緊張しましたが、まだ1年生なので、来年に

いかしていければと思います。

司会 大学生から見て、「潮来の明日」を真剣に考えている高校生をどのように思いますか。

川辺 とても嬉しい気持ちが出ます。今の4人の話も含めて、

高大連携事業をやっすごく良かったと思うし、みんなからこう言ってもらえることを嬉しく思います。自分たちも課題を考えるということをやりますが、「まちの課題」って身近なようで、解決するのがすごく難しい。ですが、潮来高校の地域ビジネス科の皆さんは、高校1年生の時から、一緒に「まちの課題」を考えて、シンポジウムという大きな舞台で、市民の皆さんの前で発表しているのを見て、すごく嬉しいと同時に、どんどんみんな発表が上手になっていく姿を見ることができて、一緒にできてよかったなと思います。

司会 「潮来の明日」を語り合う若



潮来高校地域ビジネス科1年

たちほら 立原 実南美 さん

者たちを見て、原市長いかがですか。

原市長 これまで、まちづくりについて、高校生の意見を聞くという機会はあまりありませんでした。このまちづくりシンポジウムも今年で3回目となり、年々発表も上手になっており、施策の切り口も素晴らしいものを持っています。若い人たちにまちづくりに関心を持ってもらおう、そういう時代であり、今回の皆さんの発表は、とても勉強になりました。今回の発表をまちづくりにかして、反映させていきたいと思います。

司会 原市長が考える「潮来の明日」



潮来高校地域ビジネス科1年

ひらやま 平山 唯愛 さん

とは、どんなビジョンでしょうか。

原市長 現在の日本の状況は、ロシアによるウクライナ侵攻や、原油高によるエネルギー高騰、円安など、とても厳しい社会情勢の波があります。このような時期にこれからの潮来市をどういうふうにしていくかということを考えて、不安になることもあります。しかしながら、高校生たちの「新しいまちづくり」の発表や、真剣に潮来を良くしようという、魅力あるまちにしていこうという気概を感じ、心強く思います。課題はたくさんありますけれども、課題解決していくうえで、若い人たちの力を最大限取り入れて、前向きにまちづくりを進めることによって、

多くの課題を解決していけると感じました。広域的な視点での提案も、高校生の発表の中にもありました。こういった提案をしっかりと取り入れて、みんなの意見、多くの若い人たちの意見が、一つでも政策に反映できるように、進めていきたいと感じました。

司会 高校生の皆さんの明日、将来の夢や目標は、どのようなものがありますか。

平山 あまり人と話すのが得意ではないので、発表する機会などがあるときには積極的に参加して、人前で話すのが得意になりたいです。

久保木 将来は、人を明るく笑わせられるような人になりたいです。



潮来高校地域ビジネス科1年

くぼき はると 久保木 悠斗 さん

長峰 私は、中学生の頃から美容師になりたいと思っています。

立原 自分が今までいろいろな人に支えてもらったり、困ったときに助けてもらったりしてきたので、人を助けられるような存在になりたいです。

司会 原市長からメッセージをお願いします。

原市長 自分の思うことをあきらめずに、一生懸命やっていくことで幸せにつながるだろうと思います。自分自身の夢をしっかりとらえて、努力していただければ、幸せな未来が描けると思っていますので、こ

れからも頑張っていたきたいと思います。

司会 本日は皆さん、ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。

